

Koriyama West Weekly Report



第10・11回例会
No. 2783・2784

会長/鈴木 茂幹 事/滝田 吉宏 クラブ広報委員長/濱尾 博文
会報・雑誌小委員長/濱尾 博文 会報・雑誌小委員会副委員長/石橋 理
事務局/〒963-8001 郡山市大町1-2-17 大ビル1階 ☎024-923-0847
例会日/水曜日12:30~13:30 例会場/記憶の森 郡山市山崎305-10

移動例会～大相撲秋場所 両国国技館

第10回例会 9月18日(水)

新会員卓話 「自己紹介・大ゴッホ展について」 福島民報社 郡山本社代表 関根英樹氏

第11回例会 9月25日(水) 12:30PM~ 記憶の森

第10回例会 移動例会～大相撲秋場所 両国国技館 現地集合



第11回例会 開会点鐘

ロータリーソング齊唱

「それでこそロータリー」

四つのテスト唱和 鈴木 茂会長挨拶

皆様こんにちは。先週9/18両国国技館相撲観戦でした。若隆景、若元春、白熊と地元の力士が幕内にいて大変楽しめました。今回放駒親方の直接購入でしたので、マス席7列目という非常に



宮会員ファミリー観戦
白熊、若隆景、若元春の郷土の力士も白星でした。柔道金メダリストの村尾三四郎さんも観戦していました。
終了後、ちゃんこ巴湯にて夕食

見応えのある席でした。マス席は狭いスペースですが、椅子席より断然近くて迫力があって面白かったと皆様から喜ばれました。力士が直接ぶつかる音を聴き、あの巨体での速を感じ、超人的な世界を見る事ができました。当クラブの皆様と一緒に見に行くというのはとても楽しい事なので、機会があればこうした企画をさせて頂きたいと思います。

次に会員増強の件ですが、先々週皆様に配布した紹介カードは、まだ認識があまり無いようです。私が毎月お渡ししたいと思いますので、是非宜しくお願ひします。ここでまた先々週ご紹介した森信三先生の言葉です。「進歩について」人間には進歩か退歩のいずれかがあってその中間はない。現状維持と思うのは実は退歩している証拠だ。

当クラブの現状も楽しくて良い会ですが、存続させいかなければいけませんので、次の世代のためにも会員増強を頑張っていきたいと思います。皆様宜しくお願ひ申し上げます。

出席報告 今泉雄二出席委員長 会員数 39名 出席者数 27名 欠席者数 12名 出席率 69.23% 前回出席率 100%



ニコニコBOX報告 阿部治江ニコニコBOX委員長
伊東会員 10/19BBQ お待ちしております。天気が良い事をお祈りしています。関根会員 今日はつたないお話をさせていただきます。関根会員の卓話に期待して 高橋金一会員 阿部治江会員 乾 敦史会員 鈴木会長 七海会員 丹生会員 星会員 石田会員 今泉(信)会員 今泉(雄)会員 遠藤会員 金田会員 佐藤会員 鈴木(功)会員 鈴木(淳)会員 滝田幹事 土井会員 濱尾会員 堀江会員 満井会員 緑川会員 森尾会員 柳沼会員

今週のニコニコ大賞 星 千春会員

新会員卓話 福島民報社 郡山本社代表 関根英樹氏

皆さんこんにちは。今日は最初の卓話という事で自己紹介を中心にパワーポイントでお話しします。福島高校卒業。小名浜支局長の前任は鞍田炎さんでした。事件記者という聞屋をずっとやっていました。県内の大きな事件は経験しています。



報道デスクは紙面の責任者で、3.11の時は社会面のデス

クでした。南相馬は当時まだ真っただ中、電車も通っておらず、避難解除地域がまだあまり無いような状況で、風評被害も大きな問題となっていました。

関根 英樹（せきね ひでき）
 ・昭和37（1962）年9月30日（日）生まれ
 ・天秤座 B型
 ・家族構成 妻 由美（気仙沼市出身）
 　子ども2人 孫1人
 ・趣味：剣道（5段）孫

福島民報社 郡山本社代表
 ◆ 福島放送（KFB）社外取締役
 ◆ 一般社団法人みんぽうスポーツ・文化コミッショナ 常務理事

◆最終学歴：中央大学法学部法律学科卒
 ◆平成 元（1989）年 福島民報社入社 編集局記者
 　4（1992）年4月 小名浜支局長
 　8（1996）年4月 編集局社会部（司法担当 県警サブキャップ）
 　12（2000）年4月 県警キャップ
 　15（2003）年4月 二本松支局長（現：二本松支社）
 　19（2007）年4月 編集局報道部デスク（副部長）
 　22（2010）年4月 編集局報道部デスク（写真部長代理）
 【※23年3月11日 東日本大震災発生】
 　23（2011）年4月 編集局写真報道部長代理（報道デスク兼務）
 　24（2012）年4月 編集局編集庶務部長（総合デスク兼務）
 　26（2014）年4月 郡山本社報道部長
 　28（2016）年4月 南相馬支社長
 令和 元（2019）年7月 事業局長
 　10月 役員待遇 事業局長
 　4（2022）年6月 取締役 事業局長 出版部長兼務
 　6（2024）年6月 取締役 郡山本社代表（現）

囲碁、将棋、音楽、芸術、スポーツを扱うのが事業部で、局長になったおかげで色々な分野の方と知り合いに慣れました。

その他の役職

（現職）
 ・福島県立医科大学医学部後援会 顧問
 ・県立福島高校同総会 理事
 ・太宰府天満宮 崇敬会 福島支部副支部長（過去）
 ・福島県高等学校PTA連合会 会長
 ・東北地区高等学校PTA連合会 会長
 ・全高高等学校PTA連合会 理事広報委員長
 ・福島県立医科大学医学部後援会 会長

PTAも福医大も子供2人の母校のためこのような役職に付きました。

郡山曆

【居住歴】
 ・0歳（6ヶ月）～3歳
 　郡山市（芳賀）
 ・小学校5年
 　赤木小学校在学（富田）
 ・平成26年4月～28年3月
 　報道部長（桑野）
 ・令和6年～
 　郡山本社代表（清水台）

【関係した事件】

- ・住吉、寄居一家抗争事件（平成元年）
- ・警察庁指定118号事件（平成3年）
- ・須賀川祈禱師殺人事件（平成7年）
- ・帝京安積高教師銃撃事件（平成10年）
- ・ビリヤード店主殺人事件（平成10年）
- ・17歳少女殺人事件（平成12年）
- ・etc

親の仕事の関係で小学校入学は猪苗代町立小学校でしたが、入学式翌日に転勤で違う小学校に転校しました。郡山市は今では東北のウイーンと呼ばれていますが、かつては東北のシカゴと言われていて抗争事件が多発していました。郡山市は福島県の中心に位置し、人口も多く経済の中心でもあるので、その他にも多くの事件が起きています。

次に大ゴッホ展の話を少しあせて頂きたいと思います。数年前から動きがあり、やっと福島県立美術館で2回行うことになりました。

大ゴッホ展
 ファン・ゴッホの珠玉の作品を集めた
 「大ファン・ゴッホ展」（仮題）を福島で開催！



自画像
クローラー・ミュラー美術館

 第1回 「夜のカフェテラス展」（仮）	 第2回 「アルルの跳ね橋展」（仮）
◆会期 2026年2月21日（土）～5月10日（日） ◆展示予定作品 「夜のカフェテラス」ほか約60～70点	
◆会期 2027年6月19日（土）～9月26日（日） ◆展示予定作品 「アルルの跳ね橋」ほか約60～70点	

大ファン・ゴッホ展（仮題）概要（案）

- ◆ 1 開催意義
 - ・（1）県誕生150周年、東日本大震災及び原発事故から15年の節目となる2026年と、その翌年の2027年に、福島県立美術館において、ファン・ゴッホ作品のコレクションで世界的に有名なクローラー・ミュラー美術館（オランダ）所蔵のファン・ゴッホ作品を中心とする展覧会を2回にわたり開催します。
 - ・（2）本展覧会は、ファン・ゴッホの代表作品に直接触れることにより、県民に感動や元気を届け、前に進む原動力につなげるとともに、次世代を担う子どもたちの豊かな心を育みます。
 - ・（3）また、「復興の地ふくしま」の実現に向けて挑戦を続ける本県の姿と魅力を国内外に広く発信し、交流人口の拡大につなげます。
 - ・（4）さらに、福島県立医科大学の発案により、世界的な名画を用いた臨床応用として、「アートセラピー」のさらなる発展を目指します。

 ゴッホの世界 体感を 県立美術館で大絵画展	 復興発信の契機に
------------------------------	--------------

 手帳 週の好機	 復興の姿 国内外に発信
----------------	-----------------

 巨匠共演 深まる魅力	 ゴッホ展機に観光誘客
----------------	----------------